

週間漁海況情報 2021年第36号

令和3年9月14日発行

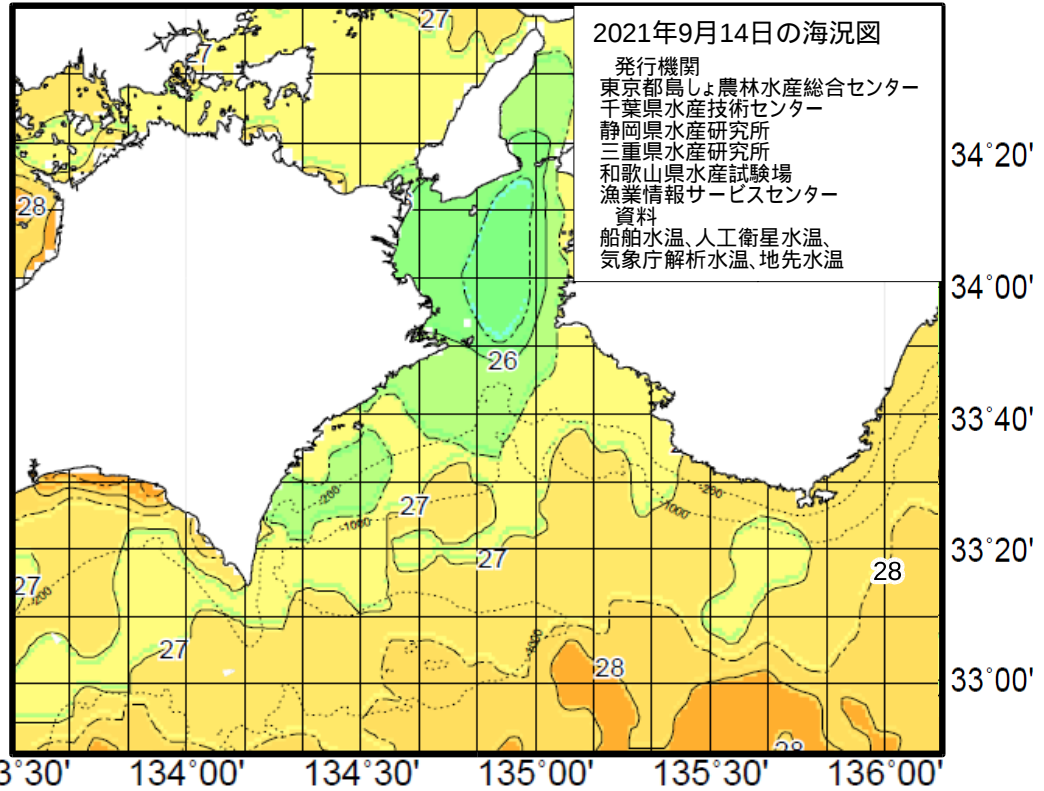
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖48マイル、潮岬沖115マイルを流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部沿岸海域への暖水波及は弱まり、紀伊水道より内海水が海部沿岸上灘に南下している。黒潮の表面水温は28, 29 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が26, 27 台、紀伊水道が25 台、海部沿岸が26, 27 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

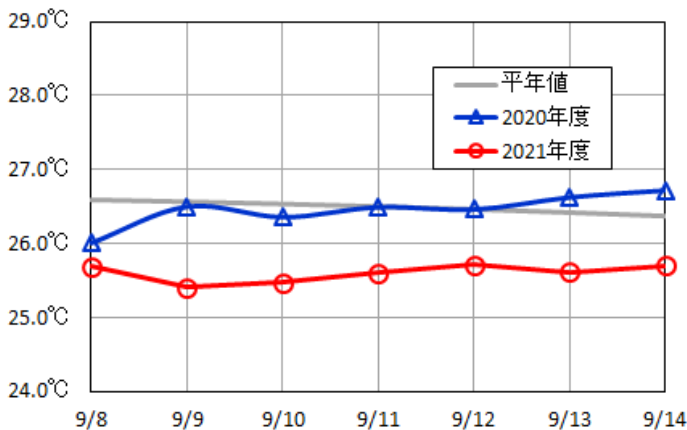
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

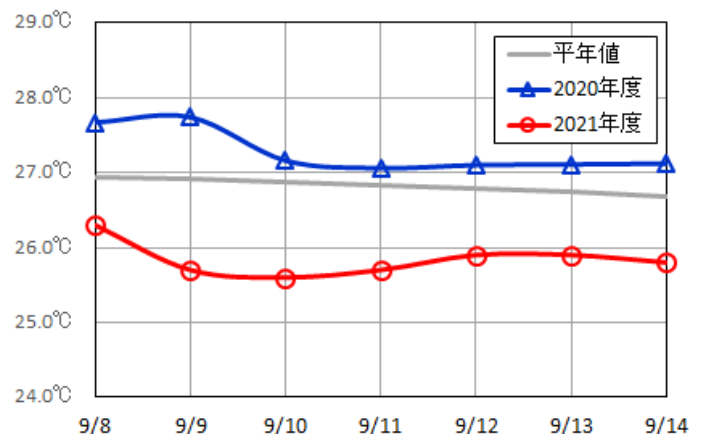
2. 地先水温 (2021年9月8日 ~ 9月14日)

鳴門地区の水温は25.4 ~ 25.7、日和佐地区は25.6 ~ 26.3 でいずれも「やや低め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.1 ~ 0.6 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上
平年値 1984年 ~ 2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (9月15日 ~ 9月21日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「やや低め」から「低め」に推移する見込み。

漁況 (9月6日～9月12日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って150ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが減って中主体に2.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが豆あじ主体に0.3ト、ブリがめじろ級主体に0.2ト、マルアジが減って小主体に0.1ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが減って中主体に2.4ト、マダイが大きく減って大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カンパチが減って0.1ト水揚げされた。
 延縄では、アカムツが減って0.3ト、キダイが大きく減って大主体に0.2ト、あまだい類が減って0.1ト水揚げされた。
 小型定置網では、かます類が大きく減って0.7ト、マアジが大きく減って豆あじ主体に0.3ト、マサバが大きく減って0.2ト、カンパチが大きく減って0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	100	シラス	150,000	1,500		
	延縄	27	ハモ	2,417	90	中主体	
	小型定置網	15	マアジ	264	18	豆あじ主体	
		10	ブリ	196	20	めじろ級主体	
		9	マルアジ	103	11	小主体	
	底びき網	18	ハモ	2,394	133	中主体	
		10	マダイ	100	10	大主体	
海部沿岸	釣り	26	カンパチ	108	4		
	延縄	21	アカムツ	251	12		
		8	キダイ	218	27	大主体	
		17	あまだい類	122	7		
	小型定置網	11	かます類	681	62		
		15	マアジ	325	22	豆あじ主体	
		5	マサバ	182	36		
		19	カンパチ	123	6		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: